

*****2008.1.10*****

CGLNEWS II Vol.26

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

『CGLNEWS II』は、第2期ロジスティクス環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信して参ります。

<目次>

1. グリーンロジスティクスガイドのご紹介
2. 京都議定書目標達成計画の評価・見直しにかかるパブコメ募集中
3. 自動車NOx・PM法適合車ステッカーについて(環境省からのお知らせ)
4. 第3回グリーン物流基礎コースのご案内

★

グリーンロジスティクスガイドのご紹介

★

このたび、ロジスティクス環境会議 企画運営委員会で検討を行なってきました「グリーンロジスティクスガイド」が完成いたしましたので、ご紹介いたします。

<グリーンロジスティクスガイドの概要>

地球温暖化問題や資源枯渇、廃棄物といった環境問題に対し、物流・ロジスティクスに携わる企業においても、積極的な役割が求められております。しかしながら、環境負荷低減活動に取り組んでいる企業はまだまだ少ない現状にあります。

そこで、本ガイドは、これから環境対応を始めようと考えている企業や、取引先との連携による環境対応を推進したいと考えている企業を主な対象として、活動のきっかけやヒントとなる情報を掲載しております。

具体的には、「ロジスティクスと環境問題の関係」、「環境負荷低減施策」、「環境負荷低減のためのPDCAサイクル」、「環境負荷低減活動を進めるために必要な能力」等についてイラストを用いてご紹介しております。

ぜひ、環境会議メンバー企業の皆様でご活用いただくとともに、グループ会社、あるいは取引先等にご紹介いただき、1社でも多くの方々に、環境負荷低減活動に取り組んでいただければ幸いに存じます。

・グリーンロジスティクスガイド (PDF 6.0MB)

<http://www.logistics.or.jp/green/report/pdf/08greenguide.pdf>

・環境会議メンバー企業の皆様につきましては、1月中旬を目処に、冊子をご郵送いたします。

・また、新年賀詞交歓会及び新春の集いでも、参加者の皆様に配布いたします。

新年賀詞交歓会(東京) 1月11日(金)
関西ロジスティクス新春の集い2008 (大阪) 1月17日(木)
中部ロジスティクス新春の集い2008 (名古屋) 1月18日(金)
九州ロジスティクス新春の集い2008 (福岡) 1月24日(木)

* 関西、中部、九州の新春の集いは参加受付中です。詳細は、下記をご参照下さい。

<http://www.logistics.or.jp/member/shinsyun2008.html>

★

京都議定書目標達成計画の評価・見直しにかかる最終報告案
パブリックコメント募集中

★

環境省中央環境審議会地球環境部会と経済産業省産業構造審議会環境部会地球環境小委員会の合同会合にて、日本が京都議定書の削減約束を達成するための基本方針を示した「京都議定書目標達成計画」の評価・見直しが行われてきましたが、このたび最終報告案が提示され、この案についてパブリックコメントが2008年1月25日までの期間、実施されます。

本報告書(案)は、以下の視点の下、対策、施策が検討されてきました。

- ・既存対策の進捗状況等を踏まえ、必要な対策・施策の追加・強化を適切に行う必要がある
- ・6%削減目標のために、排出量の伸びが著しい業務部門・家庭部門の対策について、抜本的に強化する
- ・さらに、個別部門対策を超え、また、短期的視点のみならず中長期的な観点も踏まえた上で、国民全体が総力を挙げて温室効果ガスを削減するよう、ライフスタイル・ビジネススタイルの変革等を促すような対策の強化も視野において考える必要がある

特に、運輸部門関連としては、以下の事項が記載されております。

<自動車単体対策>

- ・グリーン税制や補助税制等のインセンティブ付与等の施策の実施
- ・燃費性能の優れたクリーンディーゼル自動車等の普及の促進

<エコドライブの普及促進>

- ・エコドライブ支援機器の導入、エコドライブの普及啓発、省エネルギー法の自動車運送事業者への適用、「グリーン物流パートナーシップ会議」を通じた取り組みの促進等により、エコドライブ普及促進のための施策の強化
- ・一般ドライバーも対象とした普及啓発

<物流の効率化>

- ・グリーン物流パートナーシップ会議の枠組みを活用した荷主企業と物流企業が協働で取り組むプロジェクトへの支援
- ・鉄道貨物輸送力増強事業への支援
- ・スーパーエコシップの建造促進
- ・船舶の燃費性能を評価する技術、指標の確立
- ・グリーン物流パートナーシップ会議の枠組みを活用して、商慣行の見直しや宅配事業者の配達方法の改善におけるエコポイントの発行など消費者の物流における意識向上を図ったシステムの構築
- ・都市内物流の効率化

上記最終報告案及びパブリックコメントの詳細は下記環境省ホームページをご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9208>

★

《環境省からのお知らせ》

■自動車NOx・PM法適合車ステッカーについて■

★

環境省・国土交通省では、本年1月1日より「自動車NOx・PM法適合車ステッカー制度」を開始しました。

この制度は、自動車NOx・PM法の排出ガス規制に適合している全国のトラック・バス等に対し「自動車NOx・PM法適合車ステッカー」を貼付し、排出ガス規制の適合車か否かの判別を容易にするものです。

このステッカーを活用した取組としましては、下記のようなものが考えられます。

◆貨物運送事業者の皆様

貨物の運送に使用している自動車にステッカーを貼付し、自動車NOx・PM法の排出ガス規制の適合車を使用していることを外見上明らかに。これにより、環境に優しい貨物の運送をしていることをアピールする。

◆荷主事業者の皆様

貨物運送事業者が貨物の引き取りに来る際や、貨物の搬入に来る際に、荷捌き場などでステッカーを確認し、貨物運送事業者がステッカーが貼付されていない自動車NOx・PM法の排出ガス規制の非適合車を使用している場合、適合車を使用するように要請。これにより、付近の大気環境の改善に貢献し、環境に優しい事業者であることをアピールする。

事業者の皆様におかれましては、ぜひこのステッカーを活用いただき、物流における環境対策を積極的に進めていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

交付対象となる自動車、交付申請のしかたなど、制度の詳細につきましては、下記URLをご確認ください。

<http://www.env.go.jp/air/car/noxpm/sticker.html>

★

第3回グリーン物流基礎コース 参加者募集中
(2008年2月4日(月)、20日(水)、3月7日(金)開催)

★

前述のグリーンロジスティクスガイドの最後のページにありますとおり、環境負荷低減活動を進めるためには人材育成も重要な要素の1つです。

今回、JILSでは、担当者レベルの人材育成を目的とした「第3回グリーン物流基礎コース」を2月4日より東京にて開講いたします。

本コースでは、物流分野における環境問題全般と環境関連法規制の概要、「輸配送」、「包装」、「静脈物流と廃棄物削減」の項目に関する環境負荷低減策の基本的な項目について、理論面から実務面まで、環境負荷低減とコスト削減を両立に向けた基礎知識を3日間で得ることが可能なカリキュラム編成としております。

現在のところ、荷主企業の方では、自社の省エネ活動を進めるための基礎知識習得や省エネ法の第2回目の計画書策定に向けた情報収集等を目的として、物流事業者、物流子会社の方では、荷主企業への提案等を行うための第1ステップとなる基礎知識習得を目的とした方のお申込が増えております。

ぜひこの機会に、皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

<第3回グリーン物流基礎コース(東京開催)>

【会期】2008年2月4日(月)・2月20日(水)・3月7日(金) 3日間

【会場】TFTビル(東京都江東区有明3-1)

【参加対象】

物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策に取り組む方で、基本的な知識を身につけたい係長、主任、スタッフおよび新任担当者の方々

【参加料金】84,000円/JILS会員、99,750円/JILS会員外

※ロジスティクス経営士、物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士の資格取得者には優待割引があります。詳細はパンフレットの参加申込規程をご覧ください。

◆詳細カリキュラム、申込方法等につきましては、下記URLを御参照下さい。

http://www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2007/07h_BA0715.pdf

◆問合せ先 日本ロジスティクスシステム協会 人材教育部 武藤

muto@logistics.or.jp

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。
今回ご紹介いたしました「グリーンロジスティクスガイド」ですが、
お時間あるときで結構ですので、ぜひ一読いただければ幸いです。メンバーの皆様におきまして、既にご存知の内容も多いかもしれませんが、部下の方への教育、経営層に対して環境問題へのさらなる理解を求める際の参考資料、あるいはグループ会社や取引先への情報提供等、様々な場面でご利用いただければ幸いに存じます。

*****CGLNEWS II 配信について*****

■本メールは第2期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に
配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp

※各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスをお願いいたします。

(C) CGL NEWS All Rights Reserved.
